1　電車のホーム（夕方）

ユウスケ（１７）が電車から降りてホームを歩いている。
前の自販機で女子学生ふたりが飲み物を選んでいる。

女子学生　「どれどれ、早く！ミッチ」

ミチヨ　「えー、」

ミチヨが迷っている間に、女子学生が飲み物のボタンを押す。ガチャンと飲み物が落ちてきて、ミチヨはそれを取ろうとかがむ。ちょうど通りがかったユウスケにかがんだミチヨのカバンが軽く当たる。

ユウスケ　「いてっ」

ミチヨ　「あっ、ゴメンなさい」

ミチヨが向き直った時に取った飲み物を差し出す形になって、ユウスケも差し出した飲み物を反射的に受け取ってしまう。

ミチヨ　「あっ、それは。そうじゃなくて」

ユウスケ　「オレ、炭酸系がいいんだけど」

ユウスケは差し出された飲み物をミチヨに返す。

ミチヨ　「あっ、ありがと」

□□□